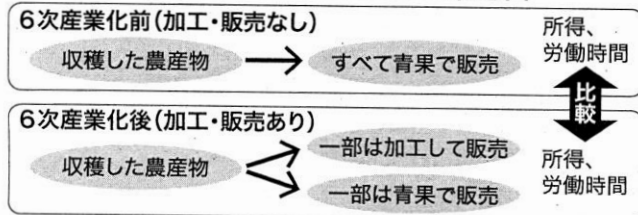


6次産業化シミュレーションの概念図



注) 本ツールの使用には Microsoft Excel (2007以降) が必要です



6次産業化用試算ツール

シミュレーションし
実行前の検討入念に

農業経営体が、生産した農産物の全部または一部を自ら加工・販売する6次産業化の取り組みは所得向上だけでなく、雇用機会の創出や地域特

とは、見切り発車による失敗を防ぎ、事業を成功させるために非常に重要です。今回開発したシミュレーションツールは、実行前の6次産業化の計画について、期待される経営成果を試算することができ、新たな加工・販売に取り組む際の意思決定に利用できます。

具体的には①6次産業化に取り組む前(生産した農産物を全て青果で販売)と、取り組んだ後とで、収支や労働時間がどう変わるか②旬別の労働時間がどう変化し、どの時期にどれくらい雇用が必要か(グラフで可視化)③計画している生産量から商品(加工品など)の単価をいくら以上に設定すれば、利益が出るかなどが分かります。

加工・販売の内容や規模の大小について複数の計画を比較し、最適な計画を見つけてほしいと思います。(県農林技術開発センター 研究企画部門研究企画室室長 土井謙児)

産品の増大など、地域活性化にも効果が期待できます。その事業計画を具体化していく段階で、正確で入念な経営シミュレーションを行うこ